

# 臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

開催日時	平成 30 年 11 月 28 日（水） 18:30～19:35
開催場所	茨城県立中央病院 がんセンター大会議室
出席委員名	小島寛、重田治、武村知己、山田修、黒澤豊彦、高木英、狩野俊幸、武安法之、大越靖、清嶋護之、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><u>新規試験</u> 日本臓器製薬株式会社の依頼による</p> <p><u>議題①</u> 「がん疼痛に対するNZ-687の第III相臨床試験ートラマドールカプセルを対照とした二重盲検並行群間比較試験ー」</p> <p>治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>
	<p><u>継続試験</u> 久光製薬株式会社の依頼による</p> <p><u>議題②</u> 「がん疼痛患者を対象とした HP-3150 の第III相試験」</p> <p>安全性研究報告について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>
	<p><u>議題③</u> ゼリア新薬工業株式会社の依頼による</p> <p>「子宮頸癌患者を対象とした Z-100 の第III相試験」</p> <p>安全性年次報告について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>
	<p><u>議題④</u> 中外製薬株式会社の依頼による</p> <p>「非小細胞肺癌患者を対象とした MPDL3280A の第 III 相試験」</p> <p>治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>
	<p><u>議題⑤</u> 小野薬品工業株式会社の依頼による</p> <p>「ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第 III 相試験」</p> <p>治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p>
	<p><u>議題⑥</u> ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による</p>

「未治療の多発性骨髄腫患者を対象とした BMS-901608 の国内第 2 相臨床試験」

海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、院内で発生した重篤な有害事象について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による  
「elotuzumab の第 II 相試験」

海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また、院内で発生した重篤な有害事象について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧ MSD 株式会社の依頼による  
「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨ MSD 株式会社の依頼による  
「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑩ MSD 株式会社の依頼による  
「胃癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑪ MSD 株式会社の依頼による  
「MK-3475 第 II 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

との妥当性について審議した。また、院内で発生した重篤な有害事象について審議した。

審議結果： 承認

議題⑫ 第一三共株式会社の依頼による  
「胃癌患者を対象としたDS-8201a の第II 相試験」  
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑬ フェリング・ファーマ株式会社の依頼による  
「A Phase 3, Multi-centre, Randomised, Double-blind, Active-controlled, Parallel-group Trial Investigating the Efficacy and Safety of FE 999315 Following 8 Weeks of Treatment for Mild to Moderate Active Ulcerative Colitis in Japanese Subject Active Ulcerative Colitis in Japanese Subjects 軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者に FE 999315 を 8 週間投与した際における有効性及び安全性を評価する第III相、多施設共同、無作為化、二重盲検、実薬対照、並行群間比較試験」  
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑭ アストラゼネカ株式会社の依頼による  
「心不全患者におけるダパグリフロジンの効果を検討する第III相試験」  
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑮ エーザイ株式会社の依頼による  
「メトトレキサートによる治療で効果不十分な関節リウマチ患者を対象とした E 6011 の用量反応性試験」  
治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認